

Re:

送信 保存 添付 名前の確認 重要度 高 低

宛先: 親愛なるバカ息子 差出人: 父

件名: Re: CC と BCC の表示

書式 写真の追加

ひな形 MS UI Gothic 10 B I U A

親愛なるバカ息子へ

お前は鹿児島に何年住んでいるのか。父さんは悲しくてしょうがない。

お前はの間、鹿児島県はもっと観光に力を入れるべきだ、と偉そうに又かしてあったが、
観光は官公庁が行うものだと勘違いしてはあらんか？

この間、東京からおじさんが尋ねてきたときに、
おじさんは「桜島に行きたい」と言ったらしいじゃないか。
なのにお前は
「桜島フェリーに乗ればいけるよ。あとは観光バスに乗るといいよ」
としか教えなかったらしいな。

あんな。観る・食う・遊ぶ・休む、そして巡る、が伴って初めて観光なんだよ。
だから「桜島に行きたい」といわれたら、
「桜島なら巡回バスに乗ると名所はおぼえてくれるよ。
でも今の時期に泊るなら、鹿屋パラ園まで足を運ぶといいよね。
あそこはパラが綺麗だからね。
昼食には鹿屋海軍航空カレーがお勧めだね。
パラ園の近くは市街地だから安い民宿もあるしね。
垂水のプリ大将もお勧めだけど、多分鹿屋で食べられるよ。
桜島の足湯は帰りに利用すると良いから、
これで大体のルートを組んであげようか」

と答えなければならぬんだよ。

その土地の人間が紹介できないような場所に他の土地の人間が行きたいと思うか？
鹿児島県民が鹿児島県に誇りをもって鹿児島をお勧めする。
これが観光まちづくりへの第一歩だと思わんかね。

まずは、お前が子供にカツオを食べさせるときに、
「今日の魚はカツオといって枕崎でとれる特産品なんだよ」
と教えてやるんだ。

お前の勉強にもなるしな。第一歩の第一歩だよ。

東京のおじさんには父さんが謝っておいたからな。
感謝以外の返信はイラン。

【もし内容がわからなかったときのための注釈】

タイトルをあえてつけるなら「観光人づくり」です。

以前

「鹿児島に行くとしたらどこに行くのがお勧め？」

と突然ツイッターで聞かれ、

宿泊数や好みの場所など情報を集めていたら、

相手が「もういいや」

と離れられてしまったことがありました。

そのあと色々考えて、

観光って押し付けでもいいんじゃないかと感じました。

遠足も似たようなものですが、

その土地に行ったことが思い出になるのだから、

こちら側から観光するといいい場所を教えてあげられればいいんだなど。

ソーシャルコミュニケーションの広まる昨今、

観光雑誌などを読むより、

その地場の人間がお勧めするものを

観光に取り入れる方が多くなったと思うので、

一人一人が自分の住んでいる土地の

観光トークができないといけないのではないかな。

そして子供達に

今日食べた魚は鹿児島の〇〇のもので

旬のものなんだよ・・・といった教育を行うとよいだらうということ、

を提案したく、

なぜか親父からのメールとしてまとめた次第です。